

## 地区別懇談会を開催

多数のご出席ありがとうございました。

今年度の地区別懇談会は、10月14日(土)から11月5日(日)までの期間、全国16地区18会場(右表参照)で開催し、1,000組1,422名の保護者の皆様にご出席いただきました。(出席率28.7%)

各会場では、総会(後援会・学園役員あいさつ/学園動向報告)、学部・学校別懇談会(現況報告、国家試験・就職関連動向報告)、全体懇談会、個別面談(学生生活全般に係るご相談)を実施し、特に、担当教員との熱心な個別相談が行われていました。

後援会は、学生のサポート役、保護者の皆様と卒業生、学園をつなぐパイプ役として、また、学園のけん引役として組織の強化、地区支部の活性化、学生生活関連助成、同窓会活動支援等を柱とし、学生生活における快適な環境をつくることを大きな目的として事業活動を推進しています。

地区別懇談会は、後援会が「保護者の皆様と学園をつなぐ貴重な架け橋」として最も力を入れている事業活動のひとつであり、皆様により一層ご満足いただけるよう、内容の更なる充実に向け、今後も改善を図って参りますので、温かいご支援、ご理解とご協力を賜り、来年度もぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。



■ 総会



■ 個別相談

開催地	開催日	出席者数	
		大学・大学院	専門学校
仙台	10月14日(土)	21組	1組
名古屋	10月15日(日)	18組	—
大阪	10月14日(土)	21組	—
那覇	10月15日(日)	10組	—
旭川	10月15日(日)	78組	1組
釧路	10月21日(土)	60組	1組
帯広	10月22日(日)	59組	5組
青森	10月21日(土)	35組	1組
苫小牧	10月22日(日)	32組	2組
札幌	10月29日(日)	454組	7組
東京	11月4日(土)	28組	—
北見	11月5日(日)	46組	2組
盛岡	11月4日(土)	15組	—
函館	11月5日(日)	87組	—
広島	11月4日(土)	4組	—
福岡	11月5日(日)	12組	—
小計		980組	20組
合計		1,000組	

## 後援会東北支部セミナーを開催

10月20日(金)、青森国際ホテルにおいて「後援会東北支部セミナー」が開催されました。セミナーには後援会の川元裕史東北支部長及び林則幸道南支部長をはじめ、東北支部所属の卒業生や県内の高校生、一般の方など、総勢58名が出席されました。

このセミナーは、「短命県返上!医療セミナー 今、知っておきたい!最新がん予防」と題して浅香正博学長による講演が行われ、その後の懇談会では、浅香学長を交え、卒業期や学部を超えた卒業生同士の交流が終始和やかに行われていました。



## 第22回日本在宅ケア学会学術集会在開催されました

7月15日(土)、16日(日)の2日間、北星学園大学において、本学看護福祉学部 工藤禎子准教授が学術集会長を務めた第22回日本在宅ケア学会学術集会在開催されました。

北海道では初の開催で、「地域包括ケアにおけるセーフティ・マネジメント」をメインテーマに、地域包括ケアにおける自助・互助・共助・公助を考えることを柱とした企画とし、集会長講演、シンポジウム3件、市民公開講座2題、特別講演2題、交流集会4題、ワークショップ2題、ラウンドテーブル2件、ランチョンセミナー5件、研究発表139題、学会委員会企画などを行いました。

当日は、北海道では100年に一度の酷暑と大雨に見舞われましたが、学術集会参加者837名、市民公開講座参加者(2日間計)379名、延べ1,216名にご参加いただき、過去最大の参加者数を記録し、盛会裏に終了することができました。参加者からは、「メインテーマの「地域包括ケアにおけるセーフティ・マネジメント」をめざした一貫した企画であった」、「在宅における安心、安全を支える知識と体制を学び合う機会となった」等のお声をいただき、本学の地域包括ケアセンター開設などの在宅ケア推進の活動に対しても、期待が寄せられていました。また、学部を超えた共同研究や、本学の修了生、卒業生の研究報告と交流の機会ともなりました。

